別紙２

障害のある人の状況

１．障害者手帳所持者の推移

本市の人口は、減少傾向が続いており、2014年度から2019年度の６年間の推移をみると、85,244人から80,416人へと4,828人（5.7%）減少しています。

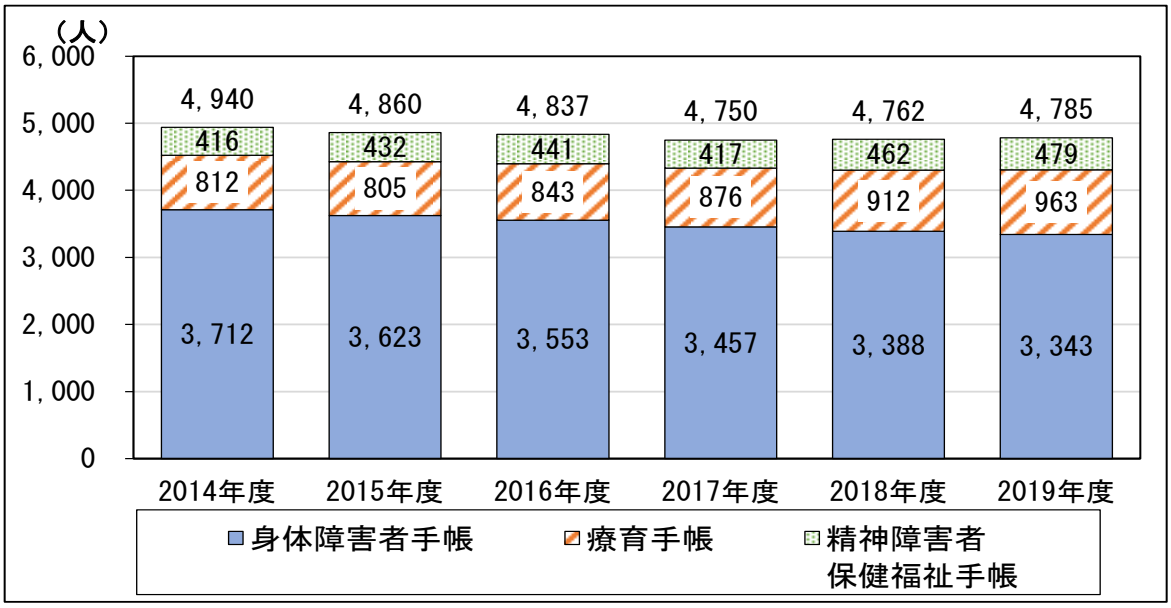
手帳所持者総数では、4,940人から4,785人へと155人（3.1%）減少していますが、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者は増加しています。

手帳所持者総数が総人口に占める比率は、5.7～6.0%で推移しています。

■障害者手帳所持者数の推移　（単位：人）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
人口	85,244	84,337	83,554	82,624	81,416	80,416
身体障害者手帳所持者数	3,712	3,623	3,553	3,457	3,388	3,343
療育手帳所持者数	812	805	843	876	912	963
精神障害者保健福祉手帳所持者数	416	432	441	417	462	479
手帳所持者数	4,940	4,860	4,837	4,750	4,762	4,785
対人口比	5.8%	5.8%	5.8%	5.7%	5.8%	6.0%

（年度末）



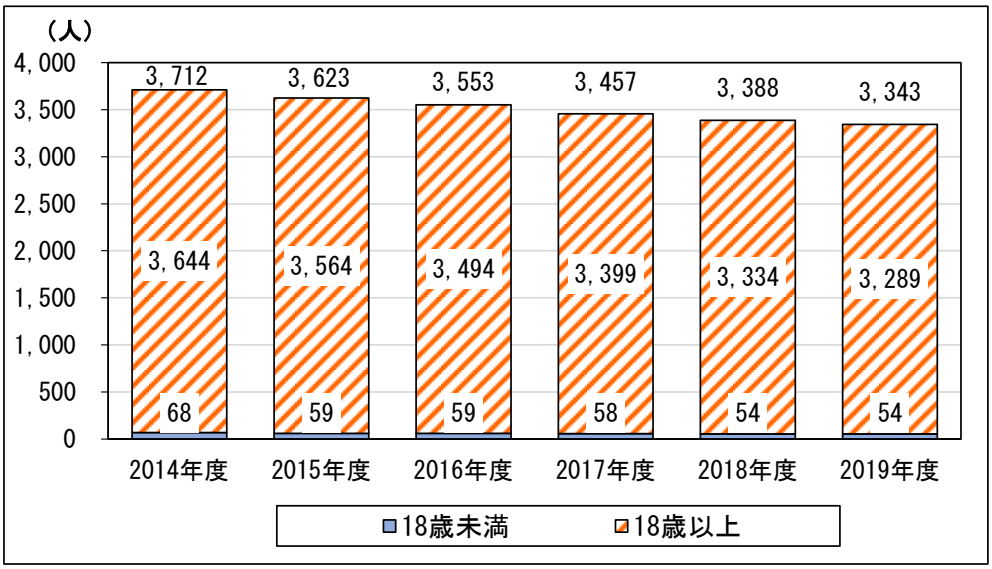
２．身体障害のある人の状況

(1)　年齢別の身体障害者手帳所持者の状況

障害者（18歳以上）、障害児（18歳未満）ともに減少傾向がみられます。

障害者では、2014年度から2019年度の６年間で、355人（9.7%）減少、障害児では14人（20.6%）減少しています。

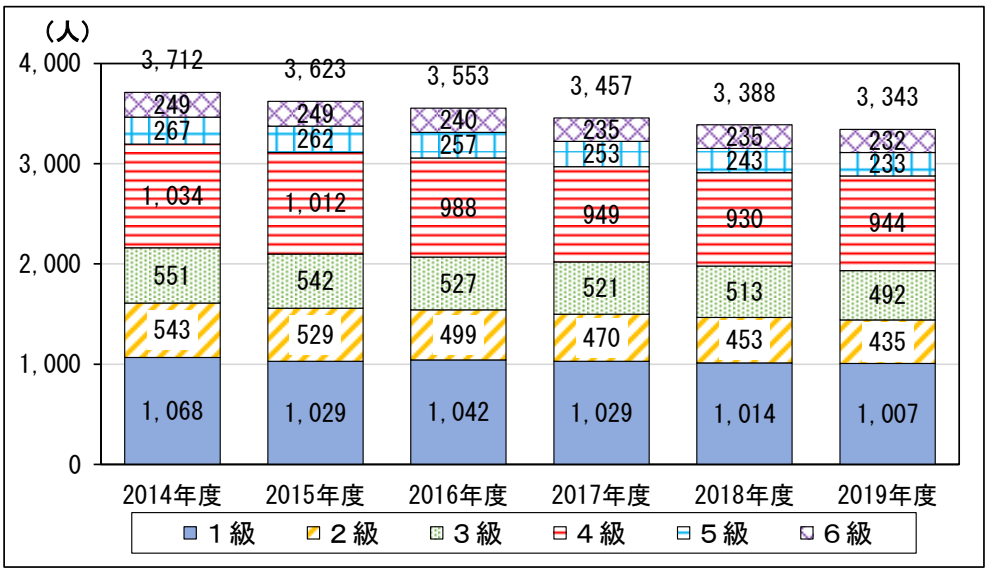
■年齢別身体障害者手帳所持者数の推移



(2)　等級別の身体障害者手帳所持者の状況

すべての等級で減少傾向がみられます。減少幅が大きいのは、２級、３級、５級で、２級では2014年度から2019年度の６年間で108人（19.9%）減少、３級では59人（10.7%）減少、５級では34人（12.7%）減少しています。

■等級別身体障害者手帳所持者数の推移

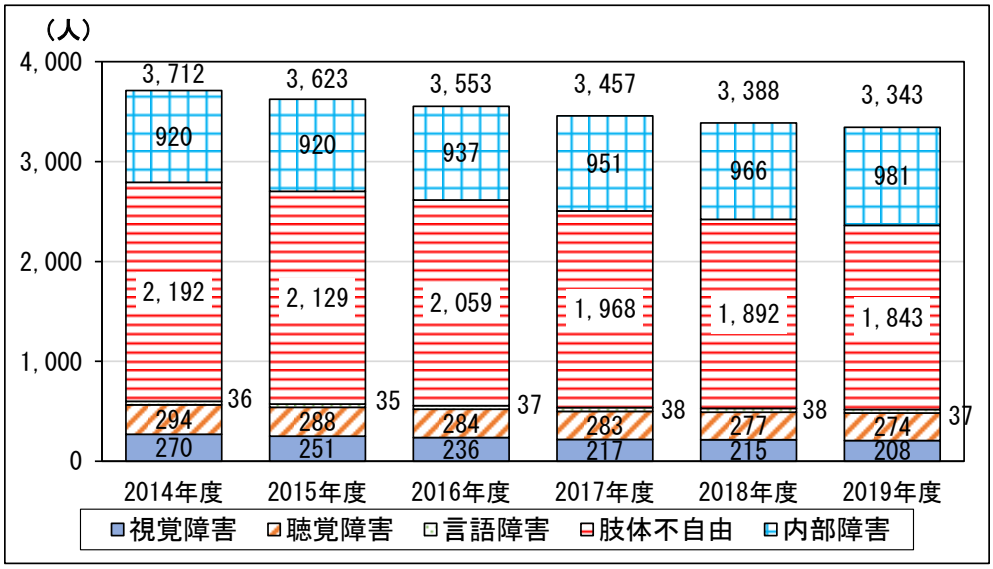


(3) 障害部位別の身体障害者手帳所持者の状況

内部障害で増加傾向、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由で減少傾向がみられます。

肢体不自由では、2014年度から2019年度の６年間で、349人（15.9%）減少、視覚障害では62人（23.0%）減少、一方、内部障害では61人（6.6%）増加しています。

■障害部位別身体障害者手帳所持者数の推移



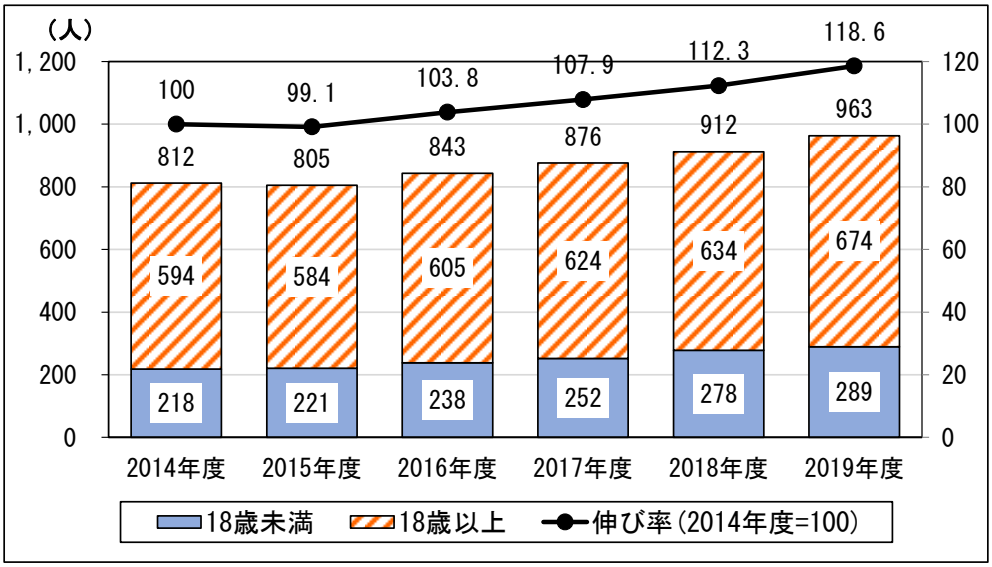
3．知的障害のある人の状況

(1) 年齢別の療育手帳所持者の状況

障害者（18歳以上）、障害児（18歳未満）ともに増加傾向がみられます。

障害者では、2014年度から2019年度の６年間で、80人（13.5%）増加、障害児では71人（32.6%）増加しています。

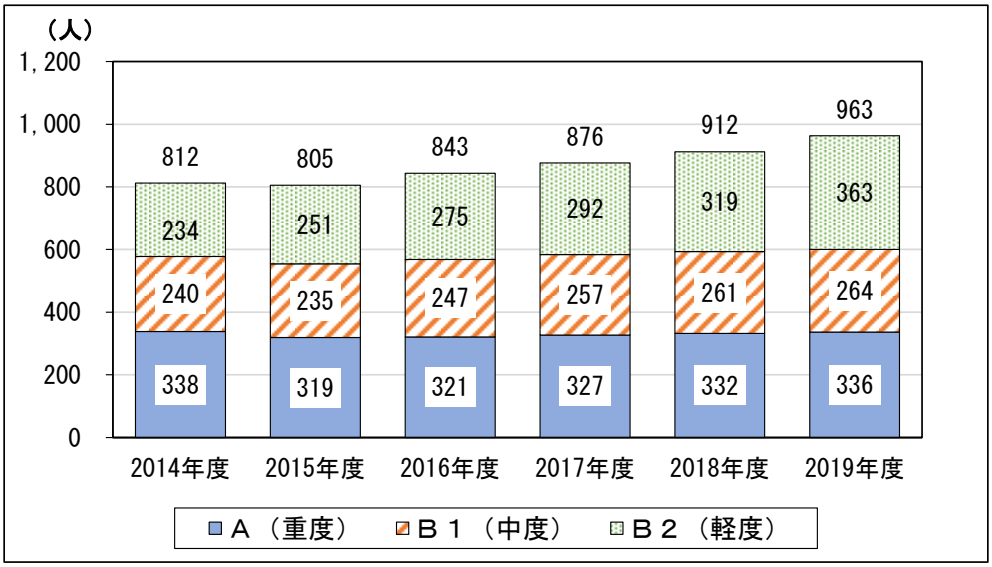
■年齢別の療育手帳所持者の推移



(2) 判定別の療育手帳所持者の状況

判定別にみるとＢ２（軽度）が増加傾向、A判定（重度）、B1判定（中度）は微増または横ばいの傾向がみられます。

■判定別の療育手帳所持者の推移（人数）

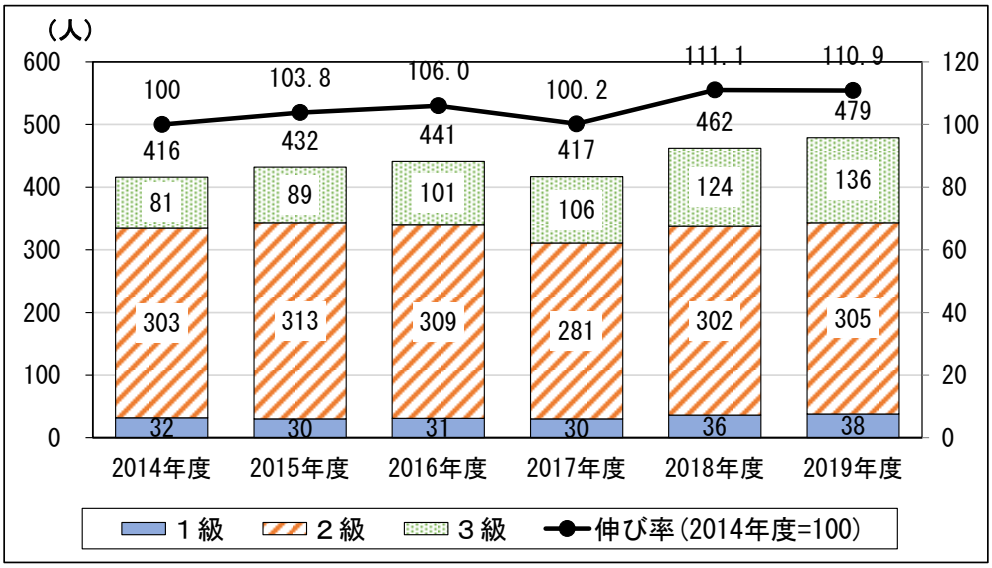


4. 精神障害のある人の状況

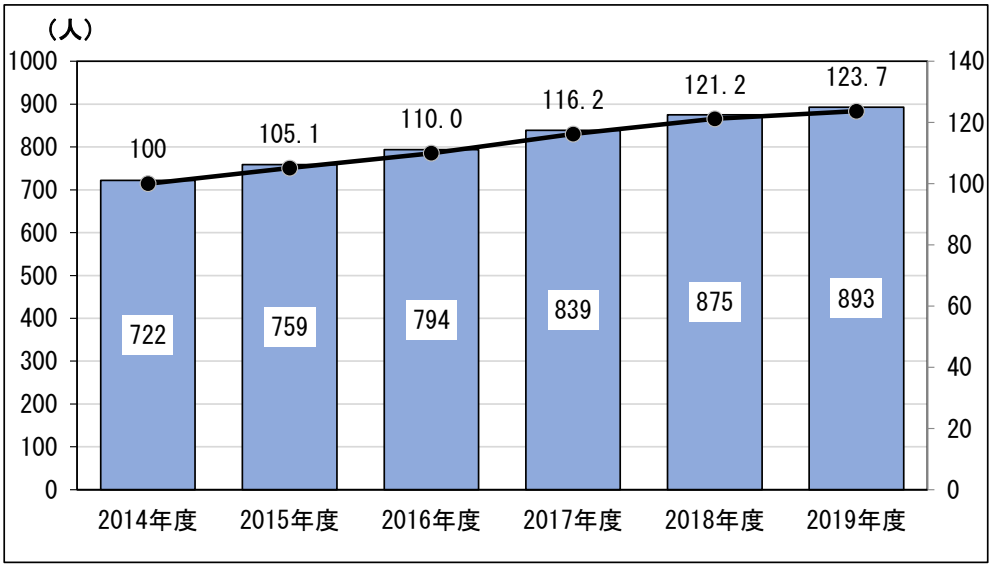
(1) 等級別の精神障害者保健福祉手帳所持者の状況

３級では増加傾向がみられ、１級と２級は2017年度まで増減を繰り返し、その後、増加しています。

■等級別の精神障害者保健福祉手帳所持者の推移



⑵　自立支援医療（精神通院医療）受給者の状況

自立支援医療（精神通院医療）受給者は、2014年度から2019年度の６年間で722人から893人へと171人増加しており、その増加率は23.7%となっています。

■自立支援医療（精神通院医療）受給者の推移